

「雪椿」発見の地探訪



明治39年3月、麒麟山山中で自生していた椿の変種を、当時の東蒲原郡立農林学校の丸山忠次郎教頭と高橋與平教諭が発見し、東京帝大の牧野富太郎博士に標本を送ったところ「雪椿」と命名されました。その「雪椿」発見の地、阿賀町を探訪して頂きます。

講演会

令和5年4月22日(土)11:30～
※受付開始

狐の嫁入り屋敷
2階大広間

40名募集

参加費1,500円(昼食付)
※特製雪椿お弁当代、資料代、
阿賀の里遊覧船500円割引券付

雪椿鑑賞会

令和5年4月23日(日)9:00～
※ホテル角神駐車場集合

阿賀町内雪椿園
※ホテル角神→角神雪椿園→
→古澤屋訪春園→
→麒麟山いこいの森公園

30名募集

参加費 無料



津川綾(古澤屋訪春園にて撮影)



演題

【雪椿の名付け親は誰?】

新潟県花つばき協会 会長

田中 秀明 氏



新潟大学農学部大学院にて、故萩屋(はぎや)薫(かおる)教授の下で、ユキツバキを研究。新潟市役所在職中に旧「園芸センター」にて、園芸植物の栽培試験や研究に従事。平成21年から「新潟県花つばき協会」会長に就任。平成23年から25年まで新潟市食育花育センターの園芸相談員に従事。平成26年から令和3年3月まで新潟県立植物園の専門相談員に従事。



演題

【「雪椿発見の地」記念碑設置の経緯と苦労話】

(株)阿賀の里 代表取締役

阿賀町ゆきつばきの会 会長

関 仁 氏



新潟県加茂農林高等学校を卒業し、旧鹿瀬町役場時代から雪椿に関心を持ち、麒麟山いこいの森公園の「雪椿発見の地」の記念碑建立にも従事。阿賀町役場退職後、(株)阿賀の里代表取締役に就任。令和2年「阿賀町ゆきつばきの会」会長に就任。



初日のみ、2日目のみの参加も可能です。22日の宿泊をご希望の方は別途。要相談。

こちらのイベントに興味を持たれた方は… 右下のQRコードからお申込下さい。
お申し込み・お問い合わせは…



【主催】

阿賀まちづくり株式会社
TEL 070-8987-3747

【共催】



阿賀町ゆきつばきの会

【協力】

新潟県花つばき協会・道の駅 阿賀の里



一般社団法人 阿賀町観光協会

